

かんしや



2月号

お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

2021
Vol.186



できることから はじめよう！

～諫早市ボランティア連絡協議会のチャレンジ～

ボランティア連絡協議会（会長 中野 勝利）は例年であれば諫早市民センターでのフェスティバルを開催していましたが、「ボランティアは私たちの生活を支え、心を豊かにする力がある。自粛という中で何もしないのではなく、**できることをできる範囲ですすめたい。**」という思いから、今年は諫早図書館に会場を移してパネル展を開催します。

ポスターのデザインは高校生に依頼しました。「自分にできる形で参加し、**若い世代に関心を持ってもらいたい**」と願っています。

※P2に関連記事

令和2年度諫早市ボランティアフェスティバル パネル展

期日 2月2日（火）～2月6日（土）
※最終日2月6日は12：00終了
会場 諫早図書館 展示ホール
主催 諫早市ボランティア連絡協議会

新年のご挨拶



社会福祉法人
諫早市社会福祉協議会

会長 寺井 雄一

新年あけましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は、本会の事業活動の推進に対しまして、多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、地域福祉を取り巻く環境は、地域のつながり支え合いが希薄になりつつあるなど、福祉活動を担う人材が少なくない、また地域におけるきめ細やかな支援体制づくりが課題となっております。

このような中、昨年より、市内20の地区・校区社会福祉協議

会皆様方のご尽力により、お住まいの住民同士が抱える困りごとや地域の特徴を話し合われ、それぞれに特色のある「地区社協地域福祉活動計画書」の作成に取り組んで頂いており、これまでに8カ所の策定が進んでいきます。

本年は、第3次地域福祉活動計画の最終年度であり、市社会福祉協議会では地区社協地域福祉活動計画の成果を踏まえた第4次地域福祉活動計画を策定し誰もが住み慣れた地域で、安全・安心に暮らせる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

一方、新型コロナウイルス感染症への警戒が続くなかでは、人と人が互いに距離をとり接触する機会を減らすことが求められていますが、このような時だからこそ、関係団体や住民の皆様との連携を大切に、住民同士の「つながり」や「絆」を再確認し地域づくりに邁進してまいります。

どうぞなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＼わたしにできること／

笑顔あふれるあたたかいまちに

ポスターのイラストをデザインした創成館高等学校 板井さんに話を伺いました。

デザインしたきっかけを教えてください。

学校でイラストの募集を知り、ボランティアというテーマから「あたたかいものを作りたい」という気持ちが膨らみ、手をあげました。

ボランティアはしたことがありましたか？

いいえ、なかったのですが今回のデザインをきっかけにボランティアについて調べました。すると助けあう心が大切だということに気づきました。実はデザインの中心にあるのは「ハートカズラ」という植物で、花言葉が「助けあう」なんです。



創成館高等学校 デザイン科
1年 板井桃香さん

イラストに込めた思いを教えてください。

地域の人と協力し合ってあたたかいまちになったらいいな、と思っています。

小学生のころから絵を描くことが好きだったという板井さん、将来の夢はイラストレーターになることだそうです。

「好きなこと」が誰かの笑顔につながることもあります。諫早市で活動をしている方のようすを「ボランティアフェスティバルパネル展」にて、ぜひご覧ください。

同時
開催

創成館高等学校デザイン科生徒によるミニ作品展

ボランティアフェスティバル パネル展では創成館高校の作品展も同時開催します！

人と人がつながり、支え合う心を育てる地区へ

～喜々津地区社会福祉協議会～

喜々津地区社会福祉協議会は、住民のきめ細やかな見守り・助け合い活動を展開し、安心安全に暮らせるまちづくりを目指し活動しています。

人と人がつながる地域に

同地区では、ふれあいいきいきサロン・子育てサロンの他、ひとり暮らし高齢者の集い、世代間交流事業などをおし、多くの住民同士がふれあう機会を設け、支え合う心をつなげていこうと事業を展開しています。

【喜々津地区社協の概要】

会 長	堀 美奈登
自 治 会	喜々津船津、木床一区、木床二区、中里、喜々津団地、下市、上市、山中、多良見団地、西川内
人 口	6,829人 (令和2年12月1日現在)
特 徴	高速道路やJRなどの交通環境や、小中学校、図書館、大型商店などの生活環境に恵まれ、ペーロン大会など古くからの伝統行事が盛んに行われている地区です。

ふれあい年賀状で相手を想いやる心を育む

ふれあい年賀状は、ひとり暮らし高齢者の方に、小学生との年賀状によるふれあいを通じて、心温まるお正月を迎えていただくことともに、次世代を担う児童が地域の高齢者に助け合いの気持ちを育むことを目的とした事業です。ひとり暮らし高齢者の方を対象に今年は約150人の高齢者の方にお届けしました。

年賀状の絵は、毎年、喜々津小学校4年生の児童一人ひとりが高齢者のことを想い、心を込めて書いています。児童からは、「カラフルな色で明るくなるように書いた」「元気で1年を過ごせるように願いを込めた」など感想があり、学校と地域をつなぐ貴重な機会にもなっています。また、民生委員・児童委員の皆様があて名書きをお手伝いされ、地区社協が学校や高齢者などをつなぐ架け橋をしています。



年賀状を書く喜々津小4年生の児童



年賀状を受け取る南さん

心を込めた手作り雑巾

5年前からは「児童たちに何かお礼をしたい」との高齢者の思いから、喜々津地区社協管内8ヶ所のふれあいいきいきサロンの参加者やボランティアが雑巾を縫い、毎年2月に喜々津小学校に届けています。

毎年、年賀状が届く南ミツ子さんは、「毎年、子ども達が上手に描いた年賀状が届くので、楽しみにしている。子ども達が、私のことを想い一生懸命書いてくれたと思うと嬉しい」と子ども達への思いを語っていました。

～自分のために みんなのために～ 新型コロナウイルス感染予防の取り組み

マスクを着用
しましょう



うがいや
手洗いを
念入りにしましょう



こまめに
換気
しましょう



高齢者の方々がいつまでも自分らしく生き生きと過ごしてもらえるようデイサービス等の介護支援はもとより、利用者の家族に寄り添い、誰もが笑顔で過ごせることを願って活動を続ける「社会福祉法人 見松会（理事長 稔山明正）」を紹介します。

地域に根差した施設でありたい

見松会の施設周辺には、立派な松の木が目に入ります。「松」は荒々しい自然にも耐え、しっかりと大地に根を張り続け、生命力豊かな木であることから「松」にあやかって法人名を見松会（けんしょうかい）と命名したとのこと。

介護保険制度開始から約20年。制度が変遷する中においても、地域に根差した施設でありたいとの熱い思いのもと、自治会や学校等と積極的に交流活動を深め、今では台風時に自主避難場所として地域の皆さんが身を寄せるほどに。地域になくなくてはならない存在となっています。

世代を超えた交流で、パワーチャージ

地域の方々との交流の場として、1階に陽当たりもよく開放感溢れるスペースが設けられています。

学校の休業期間は、学童クラブへ施設開放。子ども達は宿題をしたり、のびのびと思い思いの時間を過ごすそう。施設内は子ども達の笑い声が響き渡り、施設の中が活気づくそうです。「子ども達の笑顔の魔法にかかってしまうんですよ」と話す施設長の顔もほころびます。

1月は、施設内に「放課後等デイサービスみらい学童しるみ」がOPEN。賑やかな時間が増え、ますます活気づきそうです。



夢と希望を持ち続ける工夫

「歳を重ね、体が若いときのように動かさなくなっても、好奇心や夢、そして希望は持ち続けて欲しい。できなくなったことより、できることに目をむけ、入居者の方々と喜びを共感していきたいですね」と施設長は話します。先日は、購入したてのホームベーカリーで食パンやアンパン作りを楽しんだそうです。焼きたてのパンを頬張りながら、メニュー会議に夢は広がります。



できることからはじめよう！

地域に出向いての出前講座が、なかなか実現できないため、それならばと自宅で出来る体操の動画を作成し配信。365歩のマーチの軽快なリズムに合わせての体操になっています。施設長も自ら出演し「軽快なリズムに合わせて必死でした」と苦笑。緊張した面持ちの中にも一生懸命な思いが伝わる動画です。立ったままでも、椅子に座ったままでも大丈夫。ぜひ、自宅で一緒に体操してみませんか。歌を口ずさみながら、笑顔も忘れずに。

社会福祉法人 見松会

諫早市城見町43番1号

TEL 21-6263

特養しるみ

検索



特別養護老人ホームしるみ、短期入所施設生活介護しるみ、デイサービスセンターしるみ、デイサービスセンターしるみ ほほえみ（認知症対応型）、ケアプランセンターしるみ、グループホーム華の苑、放課後等デイサービスみらい学童しるみ

ご寄付ありがとうございました

次の皆さまから、心温まるご寄付をいただきました。ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切に使用させていただきます。

令和2年12月1日～令和2年12月31日受付分

- 香典返し ▶ 明德寺 大倉敏朗 様（有喜町）【亡父 憲章 様】
- 篤志寄付 ▶ 安勝寺 様（金谷町）

編集発行 社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL0957-24-5100 FAX0957-24-5101
ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

Facebookを開設しております♪最新情報を発信中!!

諫早市社会福祉協議会

2月のふれあい福祉相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

無料専門相談

開設日	2月19日(金) 弁護士
開設時間	午後1時30分～4時
場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。